

Vol.11

群馬工場が
紹介します!

あなたのまわりの 面白がりクラボウ人

さあ、
面白がろう。

「仕事を面白がる」とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。
この企画では「この人こそ面白がって仕事をしている!」と思う人を紹介してもらいます。

「面白がり」6項目

1. 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
2. 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んでいこう。
3. 互いの個性を受け入れ、どんどん意見をぶつけ合おう。
4. 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
5. だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
6. 未来の社会に役立つものを生み出していこう。

面白がり
クラボウ人

ふくしま けんいち
福島 健一さん
技術統括部
調査・開発グループ
(1994年入社)



お客さまとの雑談から世に役立つ製品を生み出す

福島さんが住宅用外装化粧材「クランセリート」の営業担当をしていた頃、開発担当だった私は、よく一緒にお客さまのところや現場に連れ出されていました(笑)。彼は、「クランセリートが売れるのが一番やけど、そこにこだわらなくていいねん。お客さまが満足して、売上になるなら」とよく言っていました。お客さまとの雑談で「ネット通販が普及して宅配便が急

増している」という話が出た時は、当時まだ普及していなかった戸建て住宅用の宅配ポストの製品化を試みるなど、とにかく先見の明があるというか、発想と行動力にいつも感服させられていました。その視点がきっかけで製品化されたのが「APフェイス タイプZ」です。都心に多い狭小地の住宅では屋根の軒下がなくため換気スペースが取りにくいという話を聞き、外装化粧材に換気機能を持たせるという彼の発案から生まれた他にはない製品です。多くの営業担当者として仕事をしてきましたが、ここまでお客さまの声を具現化してしまう人は福島さんくらいだと思っています。

●面白がりポイント

世の中の一步、二歩先を見据えて新しいアイデアにチャレンジする姿勢です。



福島さんの発想から
製品化された換気機
能付き外装化粧材
「APフェイス
タイプZ」

紹介者



おさだ しんや
長田 慎也さん
群馬工場
開発課
(1996年入社)

コミュニケーションで品質を変えていく

私は建材の材料開発を、大島さんは住宅用外装化粧材「クランセリート」の開発を担当しています。扱う商品が全く異なるため、普通はそれぞれの研究開発を進めるのに手いっぱいですが、大島さんはいつも興味を持ってこちらの話を聞いてくださり、材料の評価方法など困っていることがあれば試験機を持って来て一緒になって解決策を考えてくれる方です。今、大島さんが力を注いでいるのが「クランセリート」の生産性の向上です。従来は工程ごとに検証方法が異なり全体での改善は難しかったのですが、大島さんが検証方法を見直し、製造部門の各工程担当者と一緒に課題解決に取り組みされたことで不良品発生率は減少傾向になりました。今では現場から自然と状況報告が来るようになったようで、さまざまな人と連携を図りながら、自分の領域以外の



面白がり
クラボウ人

おshima よしあき
大島 良昭さん
群馬工場
開発課
(1990年入社)

ことにも興味を持って取り組む姿に、『周りをうまく巻き込みながら一つの目標に進まれているのだな』と感心するとともに、大島さんの仕事の面白がり方を改めて感じることができました。

●面白がりポイント

自分の仕事以外のことに常にも好奇心旺盛で、積極的に挑戦していける姿勢です。



大島さんが生産性の
向上に取り組んでいる
外装化粧材
「クランセリート」

紹介者



にいみ りつ
新美 律さん
技術統括部
調査・開発グループ
群馬工場駐在
(2018年入社)